

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☒ はたす
------------	---

活動名	地域と連携した防災教育（認定こども園「つむぎ野」避難訓練）
教科・領域等	ボランティア活動
活動学年等	有志生徒（1年次：2名 2年次：12名 3年次：5名）
ねらい	●近隣の保育園の避難訓練に、生徒が地域住民と協働して参加することにより、災害発生時に、地域を自分たちで守る「共助」の考えに基づき、適切な判断と行動ができるようにする。 ●志教育の一環として、地域社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせる。

【実践内容】

地震及び津波の発生を想定し、地域住民や近隣の事業所等と協働して、認定こども園「つむぎ野」の園児を避難誘導する訓練を実施した。参加生徒は、開始直後、シェイクアウト訓練を行った後、校地に隣接する「つむぎ野」にかけつけた。園の職員の指示により、園児を乗せたカートを押したり、園児の手を引いたりして、高台にある天真小学校を目指した。園児に寄り添い、安全に配慮しながら、無事に避難誘導することができた。この訓練を通じて、自らの命を守ることと、地域の人と助け合いながら他の人の命を守ることの大切さを体験的に学ぶことができた。



志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☒ はたす
------------	---

活動名	「地域国際理解講話」及び「地域国際交流活動」
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	3・4年次
ねらい	●地域（塩釜・多賀城）で暮らす外国人を支援している講師の講話を聴き、地域の諸課題に気付くとともに、地域の国際化や多文化共生について理解を深める。 ●地域で働く外国人技能実習生とのコミュニケーションを通じて、異なる価値観や多角的な視点に気付くことにより、探究的な物の見方や考え方を養う。

【実践内容】

「地域国際理解講話」

公益財団法人宮城県国際化協会から講師を招き、地域の国際化や外国人技能実習生の現状について理解を深めた。アルバイト等で日常的に外国人と交流がある生徒もいたが、外国人労働者が増加している背景やその制度等を理解している生徒は少なかった。アンケートからも、講話を通して、日本で働く外国人に対する生徒の関心が高まったことが分かった。



「地域国際交流活動」

多賀城市にある「株式会社 武蔵野」（コンビニエンスストアのお弁当等の製造）から、外国人技能実習生（ベトナム出身）6名を招いて交流活動を行った。お互いの言葉や文化の違いに触れ、さまざまな気付きや発見があった。また、翻訳アプリの活用や非言語コミュニケーション等により、より相手を理解しようと工夫する姿も見られた。生徒の中には、ほぼ同じ年齢の実習生が志を持ち、日本で働きながら学ぶ姿勢に、自らの学びや生き方を見つめ直すきっかけとなった者もあり、大変有意義な活動であった。